

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

5-II-1

5-II
-1

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	伝統文化保存団体との連携
	節 II. 伝統文化・地場産業の振興			
事業(施策)名	1 伝統文化保存団体連絡会議		事業主体	佐渡市社会教育課
			関連団体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～H34			
事業概要	【事業目的】			
	○ 島内の伝統文化の振興に向けて、関係団体の連携体制強化を図る。			
事業概要	【事業内容】			
	○ 伝統文化の効果的な情報発信や振興に係る課題の共有に向けて、島内の伝統文化保存団体や佐渡金銀山関連団体等による連絡会議を開催する。			
事業実績	【事業成果】			
	● 佐渡の伝統芸能である佐渡民謡を普及するため、初となるイベント「佐渡民謡の祝祭」を開催した。イベントには、島内22民謡団体中17民謡団体が参加し、団体間の連携強化の第一歩を踏み出すことができた。			
今後の取組・課題	【課題】			
	■ 島内には佐渡民謡協会という組織があるが、22民謡団体中6団体しか所属しておらず、協会に頼らない連携強化が必要不可欠である。そのためには、今回実施したイベントのように、連携強化につながる取り組みを、継続して実施していく必要がある。			
今後の取組・課題	【今後の取組】			
	■ 佐渡民謡については、更なる連携強化を求め「佐渡民謡の祝祭」イベントを継続実施するため必要な措置を講じていく。また、人形芝居などのその他の伝統芸能においても同様の問題は生じていることから、これらについても実施団体が連携していくために必要な取り組みを行っていく。			
事業評価	【事業の達成度】			
	[a (b) · c]		◇ 「佐渡民謡の祝祭」事業については、予想より多くの団体に出演していただくことができた。これにより、他の団体の演舞を見たり、他の団体と折衝したりする絶好の機会となり、各団体が連携の必要性を感じることができたと思われる。また、多くの団体が出演したことで観客の興味をひき、予想以上の来場者を迎えることができた。これにより伝統文化の情報発信としての相乗効果も得られる結果となった。	
	【事業実施の効果】		一方、想定を超える来場者であったため、一部見えにくい席が生じた点もあり、ステージの設置について改善する必要がある。	
事業評価	【総合評価】			
	[A (B) · C]			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。